



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

(氏名) 水谷 彰宏
(氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,881	△6.1	△261	—	78	△1.8	20	—
25年3月期第1四半期	4,133	△10.7	△171	—	79	△65.6	△77	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 558百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △656百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.24	—
25年3月期第1四半期	△4.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	45,279	33,618	73.7
25年3月期	45,850	33,378	72.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 33,369百万円 25年3月期 33,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.1	△200	—	300	839.4	200	317.0	11.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	21,265,000 株	25年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	4,463,873 株	25年3月期	4,462,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	16,801,534 株	25年3月期1Q	16,810,276 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指した国の経済政策に伴う株高などを支えとして、高額商品などに対する消費者心理が上向き、緩やかな回復を始めました。また、企業の景況感も、円安や米国の景気回復を追い風とする輸出関連企業を中心に改善に向かいました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、円安により原材料価格が上昇する一方で、嗜好品に対する購買意欲が上向きまでには至らず、企業間競争がますます加速して厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様の要望を的確に捉えた高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて6.1%減の3,881百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少ならびに売上原価率の上昇などにより、261百万円の損失となりました。前年同期は171百万円の営業損失でありました。また、経常利益は前年同期に比べ1.8%減の78百万円となり、四半期純利益につきましては、特別損失に投資有価証券評価損43百万円を計上しました結果、20百万円となりました。前年同期は77百万円の純損失でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は消費者の節約志向が根強く、企業間競争が激化して減収となりました。チョコレート類は、「ベストアソートチョコレート」などのファミリータイプの商品や「ぷくぷくたい」をはじめとするエアインチョコレートの売上が減少しました。キャンディ類の売上も落ち込みました。

粉末飲料部門は、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などが厳しい販売競争の影響を受けて減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、新商品を投入して販売促進活動を推進しましたが、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、積極的な商品提案や営業施策を展開しました結果、ゼリー類の売上は伸びましたが、主力のパウムクーヘン類が苦戦して減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ7.8%減の3,314百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより、114百万円の損失となりました。前年同期は38百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなか、顧客獲得を目指して精力的な販売促進活動を推進しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」は増加しましたが、「デキストランマグネタイト」のうちMR I（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬である「フェルカルボトラン」の減少が影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ8.1%増の496百万円となりましたが、営業損益につきましては、減価償却費の負担に加え販売品目構成の影響などにより、10百万円の損失となりました。前年同期は1百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、昨年12月に持分法適用関連会社との工場の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ12.5%減の70百万円となり、営業利益は前年同期に比べ20.5%減の28百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,008百万円減少し、8,860百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が830百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円増加し、36,418百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が539百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ570百万円減少し、45,279百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ898百万円減少し、4,344百万円となりました。これは、その他に含まれる短期借入金が580百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、7,316百万円となりました。これは、繰延税金負債が259百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ810百万円減少し、11,661百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ239百万円増加し、33,618百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が537百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強く、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、当第1四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成25年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821	2,295
受取手形及び売掛金	4,062	3,232
有価証券	785	1,038
商品及び製品	880	926
仕掛品	354	345
原材料及び貯蔵品	709	768
その他	274	261
貸倒引当金	△20	△7
流動資産合計	9,868	8,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,054	5,028
その他(純額)	7,065	7,013
有形固定資産合計	12,120	12,042
無形固定資産		
	81	76
投資その他の資産		
投資有価証券	23,374	23,914
その他	478	460
貸倒引当金	△73	△75
投資その他の資産合計	23,779	24,299
固定資産合計	35,981	36,418
資産合計	45,850	45,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,872	1,696
1年内返済予定の長期借入金	914	914
未払法人税等	27	7
返品調整引当金	7	4
その他	2,419	1,721
流動負債合計	5,242	4,344
固定負債		
長期借入金	1,922	1,693
繰延税金負債	2,784	3,043
退職給付引当金	2,139	2,226
役員退職慰労引当金	16	16
その他	365	336
固定負債合計	7,229	7,316
負債合計	12,471	11,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,662	33,347
自己株式	△8,544	△8,544
株主資本合計	26,507	26,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,640	7,177
その他の包括利益累計額合計	6,640	7,177
新株予約権	230	248
純資産合計	33,378	33,618
負債純資産合計	45,850	45,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,133	3,881
売上原価	2,942	2,838
売上総利益	1,190	1,042
販売費及び一般管理費		
販売促進費	437	410
給料手当及び賞与	371	360
退職給付費用	21	46
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	5	—
減価償却費	21	14
その他	503	470
販売費及び一般管理費合計	1,362	1,303
営業損失(△)	△171	△261
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	242	243
持分法による投資利益	27	22
その他	8	91
営業外収益合計	283	363
営業外費用		
支払利息	10	7
固定資産除売却損	8	15
為替差損	11	—
その他	1	1
営業外費用合計	32	23
経常利益	79	78
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
投資有価証券評価損	185	43
特別損失合計	185	43
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△95	35
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	△20	11
法人税等合計	△18	14
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△77	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77	20

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△77	20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578	537
その他の包括利益合計	△578	537
四半期包括利益	△656	558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△656	558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,593	459	80	4,133	—	4,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,593	459	80	4,133	—	4,133
セグメント利益又は損失(△)	△38	△1	35	△4	△167	△171

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,314	496	70	3,881	—	3,881
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,314	496	70	3,881	—	3,881
セグメント利益又は損失(△)	△114	△10	28	△97	△163	△261

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。